

令和3年度
神奈川県立山岳スポーツセンター
維持管理事業実施状況総括書

公益財団法人 神奈川県公園協会

◎新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた施設の対応について

日時	山岳 SC の対応	備考
令和3年4月8日	臨時休館（10/24まで）	感染症の拡大防止のため
4月20日		まん延防止等重点措置
5月12日		まん延防止等重点措置延長
7月15日		まん延防止等重点措置解除
7月16日		神奈川県版緊急事態宣言
8月2日		緊急事態宣言
9月30日		緊急事態宣言解除
10月1日		リバウンド防止期間
10月24日		リバウンド防止期間解除
10月25日		利用再開
令和4年1月21日	まん延防止等重点措置	
3月6日	まん延防止等重点措置延長	
3月21日	まん延防止等重点措置解除	

◎臨時休館中の措置

- ・ 自主事業及び県山岳連盟との合同イベントの中止
- ・ 県山岳連盟の委託事業（指導者養成研修会・クライミング普及教室）の中止
- ・ 県山岳連盟の自主事業である登山教室等の中止
- ・ 屋内外施設（宿泊・研修室・食堂及びクライミング施設等）の利用中止

I 維持管理事業計画の実施状況

項目	細項目	実施状況
I サービスの向上 1 指定管理にあたっての考え方、運営方針等	(1) 指定管理業務全体を通じた団体等の総合的な運営方針	・山岳スポーツセンターの設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを把握して施設運営を行った。
	(2) 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営にあたっての基本的な考え方	・秦野戸川公園内にある3施設（秦野戸川公園パークセンター、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター）で利用促進、問題等の改善のため連携を図った。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベントは中止。
	(3) 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	・日頃から「公平」、「透明性」、「厳正」に対応した。 ・利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。 ・ゼロエミッション等環境に配慮した維持管理に努めた。
	(4) スポーツ・競技振興に関する考え方	・登山愛好者やクライミングウォール愛好者はもとより、何方にもきめ細かく対応しスポーツ振興に努めた。 ◇神奈川県山岳連盟の協力を得て底辺拡大のイベントを実施した。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベントは中止。
	(5) 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等	・高度な技術や専門的な資格を要する業務は専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。 *別紙委託業務一覧表参照
2 施設の維持管理	(1) 一体的な管理運営による効率的な維持管理	・植物管理等、直営業務を相互に兼務するなど、効率的な維持管理に努めた。
	(2) 清掃、保守点検、受付等の維持管理業務の実施方針	(施設、保守管理) ・平成9年度の開館から24年が経過し施設の経年劣化による要補修箇所が増加している。 ◇県発注工事（5件） ①エアコン設置（研修・トレーニング室、食堂、厨房） ②外周フェンス設置工事 ③光回線管路敷設工事 ④自火報知器交換工事 ⑤宿泊棟デッキ改修工事 ・物品管理に当っては毎月初めにチェックして適正管理に努めた。 (清掃管理) ・秦野戸川公園との一体的な管理となり、委託による清掃管

		<p>理を行うことにより常に清潔で快適な環境の維持に努め、適正な日常管理を行った。</p> <p>(宿泊施設管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に食堂、厨房の衛生面、トイレ、シャワー室のきめ細かな清掃に配慮し清潔で安全な施設の維持に努めた。 ◆「新型コロナウイルス対応ガイドライン」により、利用者の検温、体調管理の報告を定め、館内においては、マスクの着用、手指消毒の徹底、使用後には職員による定期消毒を行うなど、感染症拡大防止に努めた。 ・山小屋及びキャンプ場の管理者等に対する衛生講習会 ◆「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ・館内害虫消毒（5月24日、12月13日） ・給水施設の点検及び水質検査（1月21日、3月1日） <p>(植物管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中低木類の剪定は直営で行い、環境の維持に努めた。 ・クライミングウォール前の観覧席の芝生は、特に重点的な維持管理を行い良好な状態の保持に努めた。 ・季節の草花を館内に植え維持管理して来館者が和めるように努めた。
<p>3 利用促進のための取り組み、利用者への対応、利用料金</p>	<p>(1) より多くの利用を図るために行う広報、PR活動の内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「山岳スポーツセンター条例」及び「利用等に関する規則」を遵守し利用者の確保に努めた。 ・団体利用者間で事前調整がなされ、予約が重複するなどのトラブルがなかったので、利用調整会議は開催しませんでした。 ・大倉バス停、秦野戸川公園パークセンター及び山岳スポーツセンター付近の案内掲示を更新するなどして利用者の拡大を図った。 ・平成21年度のホームページ開設から13年目となり、最新の情報や施設案内を掲示することによって、施設の利用が円滑に行われるよう努めた。
	<p>(2) より多くの利用を図るために実施する登山・山岳競技等の振興に関する取組の実施方針、内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度スポーツクライミング神奈川県代表選考会兼ジュニア強化選手選考会 4月10日(土)～11日(日) ・山開き親子体験クライミング 4月18日(日) 中止 ・第59回神奈川県高校総体兼全国高校総体県予選会 (変則コンバインド) 6月5日(土) はだの丹沢クライミングパーク 6月6日(日) スピードクライミング 6月13日(日) リードクライミング

		<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市・県山岳連盟主催山の日イベント 8月8日(日)中止 ・山の日無料開放日 8月9日(月)中止 ・親子シャワークライミング(公園敷地内で地図とコンパスの利用教室、テント泊&星空観察と沢登り、) 8月27日(金)～27日(土)中止 ・県民スポーツ月間 ＜施設無料開放日＞ 施設については無料開放中止 ＜親子でチャレンジクライミング＞ 10月2日(土) 参加者20名 ＜親子体験クライミング＞ 10月16日(土)中止 ・神奈川県選抜スポーツクライミング大会 10月10日(日) (関東小中学生選抜スポーツクライミング神奈川県予選) 小学生26名 中学生13名 高校生10名 ・第35回かながわ県民登山 11月7日(日) 参加者16名 ・県山岳連盟と連携を図り各種円滑な事業実施に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催が減少となった。 ①リードクライミング教室：年4回(通常7回) ②スピードクライミング教室：年2回(通常6回) ③委託研修：年7回(通常13回) ④登山教室：年2回(通常13回) ⑤冬山教室：年1回 ※別紙令和3年度山岳スポーツセンター利用計画兼山岳連盟行事表参照
	(3) 利用料金の設定、減免の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・県山岳スポーツセンター条例第13条に基づき県の承認を得て行った。
	(4) 接客、苦情処理、利用指導等の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで公正に説明し、利用者のご理解を頂きながら利用承認事務を行った。
	(5) サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査(上半期は閉館のため未実施)を、実施した要望事項について対応した。 利用者満足度調査 3月(下半期分) ・自動販売機は、屋外に移設し12年目となり、利用者への利便を図っている。 ・具体的な施設利用案内をパークセンター内、大倉バス待合所付近、山岳スポーツセンター玄関前に掲示した。 ・ホームページで、施設予約状況を小まめに更新し利用者の

		<p>利便を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場に屋外クライミング施設の上部に日除け・雨よけテントを設置し、利便を図った。 ・宿泊棟和室、洋室全室のカーテンを夏冬で交換し、利用者の快適利用を図った。
4 事故防止等安全管理	(1) 通常の指定管理業務を行う中での事故防止等の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため職員不在の夜間休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。 ・「事故防止点検マニュアル」により日常点検を実施して事故防止に努めている。 ①ゴールデンウィーク期間中の緊急連絡体制 ②年末年始緊急連絡体制 ③地震・風水害警報時の緊急体制 ④山岳スポーツセンター緊急連絡網 ⑤休日等県スポーツ課事故等体制表 ・職員による施設の随時日常チェック実施 ・クライミング利用者への利用開始前の事故防止の周知 ・「施設点検チェックリスト」による日常管理実施。
	(2) 事故、異常気象等の緊急事態が発生した場合の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害発生時等の緊急時の体制および初期対応に従い適切な備えを行った。 ・警報発表時には施設点検パトロールを実施しスポーツ課へ報告。 ・事故等の発生は無し
	(3) 急病人等が生じた場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・上級救命講習受講者の配置、AED 設置により急病人等の発生に備えた。 ・対応マニュアルにより対応 ・発生は無し
	(4) 登山・山岳競技の危険性に鑑み、指定管理業務を行う際の事故防止等の安全確保に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が随時施設の巡視チェックを行い保全に努めた。 ・クライミングウォールの駆動装置の適正な稼働のため、随時専門業者に委託する等して保全に努めた。
	(5) 当該公園の「震災時対応の考え方」に示す初期対応等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震発生時の参集体制と配備体制を適切に整えた。 ・緊急参集訓練を秦野戸川公園と合同で実施 令和4年1月12日
	(6) 大規模災害発生時の施設の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練 実施日 9月28日 令和4年3月1日 ・BCB（事業継続計画）策定

5 地域と連携した魅力ある公園づくり	(1) 地域人材の活用、地域・関係機関との協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県委託事業の円滑な推進について県山岳連盟と調整を図りました。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため一部のイベントは中止。
	(2) ボランティア団体等の連携、協働及び育成	<ul style="list-style-type: none"> ・丹沢山小屋組合と連携を密にして山岳情報の収集、意見交換を行い利用者の利便を図った。
	(3) 周辺地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳事故情報等情報収集 登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え安全登山の一助に努めた。
	(4) 一体的な管理における地域企業等への一括的な業務委託による迅速、かつ、きめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。
	(5) 企業の CSR 活動（社会的責任、社会貢献）や学校等との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・地元中学校 2 校（渋沢、本町）の職場体験の受け入れなど地域との連携 ◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。
	(6) 地域振興に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足等の利用による屋外 2 m クライミングウォールの案内、秦野戸川公園と連携した運動等の利用促進等を行った。
II 管理経費の節減等		<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な作業及び職員の努力で人件費の縮減に努めた。 ・館内の廊下等一部の蛍光灯を LED に交換。また、宿泊棟全室のカーテンを厚生地製に交換する等光熱費の節減に努めた。 ・利用者の協力を得ながら節減に努めました。東日本大震災以後、特に節電に努めており、利用者にも協力を頂いている。
III 団体の業務遂行能力 1 人的な能力、執行体制	(1) 指定期間を通じて両施設を効果的・効率的に指定管理を行うための人員配置等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤館長 1 名（兼務）、副館長 1、総括管理主任 1 名（兼務）、専門員（山岳施設担当） 1 名、パート職員（維持管理等） 1 名を配置。 ・毎月月末に翌月の勤務計画を作成し円滑な管理運営を行う体制づくりに努めた。 ・良好な管理運営に必要とする知識、技術の習得を図る研修、講習会を受講し職員の能力向上を図った。 ①実務担当者研修 ②スポーツクライミングコーチ 2 (SC2) の資格習得

	<p>(2) 業務の一部を委託する場合の管理 ・指導體制の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日報の提出や現地確認等により指導監督を行い、業務完了後は完了検査を行うなど、適切な指導監督に努めた。
	<p>(3) 指定期間を通じて安定して指定管理業務を行うための人材育成や職員採用の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳スポーツセンターの設置目的を把握し知識及び経験を有する職員を確保した。 ・山岳関係の知識や経験豊富な人材に加えて施設管理能力がある優秀な人材が確保できた。また、27年度から秦野戸川公園との一体的な管理となり施設維持管理面での適正な対応ができた。
2 コンプライアンス、社会貢献	<p>(1) 指定管理業務を実施するために必要な団体等の諸規程の整備、法令遵守の徹底に向けた取組の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「条例」「利用規則」「(公財) 神奈川県公園協会規則」各種法令等に基づき施設の適正管理に努めた。 ・事務処理、会計、利用承認等関係規則を遵守して執行した。
	<p>(2) 個人情報の保護についての考え方 ・方針及び個人情報の取扱いの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「公益財団法人神奈川県公園協会個人情報保護規定」により適正に取り扱いをした。 ・パソコンはパスワード設定し使用管理している。 ・データバックアップのため新たにサーバーを設置した。 ・書面、データ類は鍵の施錠できるキャビネットに保管。
	<p>(3) 指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度から「環境指針」を定め環境への負荷の軽減に取り組んでいる。 ・ゼロエミッションへの取組として、コピー用紙の裏面再利用、環境製品の使用、電気、ガス、水道、灯油等の使用削減に努めている。 ・剪定樹木、落葉等の施設内処理を実施。環境に配慮したサイクル利用を図っている。 ・地球規模の環境対策が求められており、職員一人一人が自然に親しみながら共生できる社会を目指す意識の継続を図っている。

II まとめ

第3期指定管理の7年目（最終年度）を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年度当初から臨時休館の措置をしました。緊急事態宣言解除（10月24日）を受けて、10月26日から利用再開とし、施設運営につきましては、引き続きガイドラインを遵守の上、感染防止対策に努めました。

臨時休館中は、感染症拡大防止により、秦野戸川公園と連携したイベントや体験クライミング等の実施等は、延期や中止としましたが、スポーツクライミング神奈川県代表選考会、神奈川県高校総体兼全国高校総体県予選会及びパラクライミングジャパンシリーズ大会兼日本選手権については、感染対策の徹底や人数制限により開催しました。

○利用実績は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館の措置、及び施設再開による一部制限（収容人数の半分、感染対策等）等により、昨年度比較で利用収入は、63,196円減の1,022,823円、また、利用者数は60人減の3,958人の利用に留まり、管理目標としていた11,000人を大きく下回りました。（別紙 第三期指定管理状況参照）

今年度は、管理者である県スポーツ課において、①エアコン設置（研修・トレーニング室、食堂、厨房）②外周フェンス設置工事、③光回線管路敷設工事、④自火報知器交換工事、⑤宿泊棟デッキ改修工事を実施していただき、安全で快適な環境の確保が出来ました。今後も利用者に安全・快適なサービスの提供及び引き続き感染症対策を徹底するなど管理目標達成に向け取り組んでまいります。

○施設利用者の状況

	利用者数(人)	全体比%	R2利用者数	増減
宿泊利用	286	7.3	315	-29
休憩利用	336	8.5	186	150
研修室利用	608	15.3	407	201
屋外クライミング	2,734	68.9	3,116	-382
総利用者	3,964	100	4,024	-60

○施設利用収入額の状況

宿泊等利用	500,158	48.9	459,990	40,168
研修室利用	29,310	2.9	19,557	9,753
屋外クライミング	493,355	48.2	606,472	-113,117
総徴収額	1,022,823	100	5,606,328	-163,038

○一般利用者の状況（人） 総数 2,745名

見学	トイレ	申込・ 下見	2mトラ バース	その他	電話問い合わせ			計
					施設	山岳情報	観光他	
785	0	5	983	453	513	4	2	2,745

※一般利用者も昨年度比減少。

※参考（R1年度7,531名 R2年度4,770名）